



發行所 文部省教化司
文部省教化司
本誌編輯部（支那科）
編輯一部的年約金 四圓
一號一部的年約金 五圓

米の非行は天 人共に許さず

全滿キリスト教信徒大會

大東亞戰爭の誘發者米國は、その國內事情に鑑み、しきりに戦争の早期終結をあせつてわが滿洲及び日本本土を窺ひつつあるが我が鐵桶の守備陣にはばまれて思ふやうな戦果は擧らず日一日と熾烈化する戦況に血迷つて爰には我が病院船を襲ひ或に都市の無差別爆撃の不法を敢てしたが遂に鬼畜の本性を現はしわが祖國に殉じたる誠忠日本軍人の遺

會、關東州キリスト教會協同主催のもとに對米英聲明發表全滿キリスト教信徒大會を開催し、神の御名において米の非行を膺懲し併せてアメリカのキリスト教徒に對し再びかかる蠻行の行はれざるやう厳重抗議すると共にその猛省をうながす所があつた

アメリカの軍人及國人が祖國に殉じたる日本軍人の遺骸に對し敢て爲せる冒瀆は基督教信仰の立場よりは勿論實際正義、世界人道の理念より觀じ來つて眞に天人共に許さざる惡逆行爲である。

大東亞戰爭はアングロサクソンの物質的欲望と精神的獨善とが原因であつたことを思へば我々が神の御旨に副ひ正しい戦をすゝめてる

先には萬國赤十字社條約を無視せる病院船襲撃の事あり、或は都市無差別爆撃、或は歴史的建造物破壊等相次ぐ之等アメリカ軍人によりて行はれたる不法蠻行に對し、滿洲國に於る吾等基督教新教徒は今後斯かる

非基督教的、非人道的事實の發生を防止せしむるためにアメリカの基督教徒の深甚なる考慮と反省とを要望するものである。

康徳十一年八月二十七日
滿洲國基督教聯盟

- 滿洲基督教會
- 日本基督教團滿洲布教區會
- 滿洲朝鮮基督教會
- 滿洲基督教安息日會
- 滿洲國日本聖公會
- 關東州基督教會



この時に當り國都において滿洲全キリスト教徒が會合を閉きこの悲しむべき慘事の實狀を明らかにし教義に則り一口も早く戦争の終結せんことを希ひこれを機に米英キリスト信徒が反省することを希つてやまない

ることは自ら明らかである戦争開始以來米英は弱者に對しては非常な力を示すと共に強者に對しては實に卑屈な態度を執つてゐる、例へば病院船の襲撃、歴史的遺跡の破壊、非戦闘員に對する無反省な爆撃等の如きは彼等が歴史に示してきた神の御旨に反する非行である、東洋では死屍に對し害を加へることは武士の最も屈辱とするところであり彼等の驚くべき慘虐な行爲は我々が考へることの出來ない慘事であつて一般人といへども許し得ない所であるが我等キリスト教徒には殊に黙許し得ないところであ

敵之劣行天人共憤

全國基督教徒大會發表聲明

此次敵美... 侵略... 令人... 憤慨...

聲明

對國之... 侵略... 聲明... 敬請...

本國基督教徒大會... 敬請... 敬請...

的佔有物質的事件... 精神... 敬請...

進行... 敬請... 敬請...

敬請... 敬請... 敬請...

敬請... 敬請... 敬請...

照 空 覽

世の中に... 敬請... 敬請...

王府を訪ふ (三)

本誌記

活佛に會ふ

活佛！それは神祕にとざされた超人間界の存在のやうに思ふ、そして佛の化身なりといふ崇高な少年を聯想する。

しかし、大法會に出席した盛裝の活佛は長身瘦體の大人である、カメラをむけるとこちらに向つて威儀を正す美稱の紳士である。

跪舞、相撲、競馬等々の行事を一通りみた記者は最後に活佛に會ふ希望を果すべく接待のラマにその旨を通じたが彼等は「駄目だらう」といつていつかな取つごうとしな

い、結局旗長に助力を願ふことになつた。郭爾拉斯前旗長達木林多爾吉氏は氣輕に受諾して席をたつて行かれたが聞も深く受諾された由を齎らされる、若き通譯の某氏(ラマ學院の教師日本留學生)に導かれて行く

珊氏といひ、本年五十四才、第四回の轉生である、五六才の頃既に經を讀み、夙に内教に遊學して修養を積んだ大徳である。

由來ラマ僧には煩雜な種類階級がある、而してその種類を概説すると、轉生を以て世々繼承する轉生ラマ、扎薩克(ジャサク、管旗牧人)職を有する扎薩克ラマ、廓内に常住するラマ及び在家にあつて僧形をしてゐる在家ラマの四種である。

轉生ラマはラマ教界で最も尊崇せられ王侯も能く跪座せしむるの代々裔蹟に滿たされて轉生する活佛級のラマであつてラマ教界の正阿闍のダライラマも亦これに屬し轉生七回にしてその資格ありと稱せられる。

扎薩克ラマは放牧地と人民を有し旗民に對し政教兩權を並有する王侯と異らぬラマであり、廟ラマとは廟中に起居してゐるラマをいふ。

この廟の組織は、一山(一山の座主)一名即ち丹囉札拉喇であるが中には數名の活佛が住することがある。

ターラマ(一山の實權を有する有徳のラマ)五名、

西藏に留學した積學で活佛に代つて一山を率ゐる

グヌクヒ(監祭)二名、一山の風紀を取締り沉くも

法にかなはぬ所行に對しては斷呼聲し活佛と雖も

も容赦しない、記者は朝の行にグヌクヒが一時

餘に互り大聲叱呼してゐるのをみた、一山の宗風

はグスクヒに左右せられるといふも過言ではない

オンヤト(經頭)二名、讀經の音頭をとる。

ニララフ 三名、大本堂、倉庫の管理者。

コンニル(三名) 一山の總の保管者。

テム、三名、會計係

ヒチヤ、三名、書記、三名

ハニル(清掃係) シヤリマ(給米) 沙強(炊事夫等

走り使ひ) 多職

等があり各々職を分擔して整然と運営し、これを統率する一山の座主が活佛である。

附近にゐる活佛の顔には碎心瘦骨の苦業を經た魂者の威容を具へ鋭い眼光に精神界の王者たる威嚴がある。

實にラマの修業は全身全靈を傾け盡す苦難の業である。

西藏の廟を訪ふ者はよく一ラマが數名のラマを前にして數珠を振り雙手を拍ち威懾すかの如き形相をして寺庭を喚き歩いてゐるのをみるといふ

これはラマ學校に於る佛教學を問答體で研究する相である、ラマ僧には十三の進級段階があり、順次進級して卒業者にはアランチンバの學位が與へられる、しかしこの學校を卒業するためには驚くべき努力殊に非凡な暗誦力を必要とし、少くも十年、多くは二十年三十年の日子を必要とするといふ、而して學位を得る爲には一山の大家の面前に於て一大論場を開設し大家を相手

に所有論題に於て説破しなければならぬ、愈々説服し了りたるものが一山の者より確認せられて後始めて卒業が宣せられ學位が発與せられるが此の時卒業生は大家に對してハタツク、金錢、最上の飲食物、菓子、經文等を供養しなければならぬ、數百數千の大衆に對してこれらをなすには莫大な金錢を消費するため貧困者は卒業し得る資格を有しなから學位の授與は望めづき名近くの學生を有する學校においてても有位者は年數名を出さぬといはれる。

かかる苦業を經た活佛の風貌の中に人を威服する威嚴の存するの蓋し當然である。豫定の中はなかつたが旗長のすゝめで今夜哈喇茂都へ行くとを約した記者は内に掘せんとする活佛の厚意を謝して立話する、天候は益々陰悪となり雨來さうである。この盛大な大廟會に參列さ

せて戦き、その上手厚いおもてなしに與つて感謝にたへたい。

先生方にはわづらひ遠方から御參拜下つて却つて感謝してゐる。

と、はじめ顔面を綻らばせ軽く一轉する、その魅力に富む微笑には温い佛性があふれてゐた。

通譯を介して語る會話の内容容は一貫を缺き甚だまとまりのたい結果に終つたが、これを綜合すると今度の大戰争には日本の勝利を確信しラマも蒙古人を卒めて及ぶ限りの協力をしてゐる、例へば錦州のある寺では六百名のラマが石炭増産に働いてゐることを聞いたが私達もこれを模範として働き度いと思ひ今年は特に増産に努力し木を植ゑ、牛馬を養ふことに努めてゐる。

昨年は一名一區乃至百圓を飛行機送金したが今年も話があり次第積極的に行ふつもりである、超現實的世界の存在との考へてゐた記者は五大運動の實現を期して政府の施策に協力するラマの逞しい姿を窺知して心強く感じた。

旗長威儀に馬車に乗つて記者待つてゐる、話したいこと、聽きたいことはまた多かつたが再會を約して辭去した

活佛のこゝろやかな見送りの裡に記者等を乗せた馬車は雨足の漸く繁くなつた高原の道を一路目的地に向つた。

紅卍字總會幹部會

財團法人各項事宜議就

政府當局為謀國民教化方策之確立，前此於康德九年發表之基本國策大綱中曾有活用宗教教化團體而謀國民教化之徹底等項，邇來各宗教教化團體，承政府關係各當局之指示，曾積極於教化工作之實施由其側面而應國策而裨益於國家之施政上者良多，其中之世界紅卍字會滿洲總會，為謀順應國策，及政府之指示起見，特於八月廿五、廿六日召開全國各會幹部，研究教化工作之徹底方策，與確立紅卍字會之基礎，而改訂財團法人等事宜，其第一日之廿五日由全國幹部三十餘名，總會關係側張慈善總會長，于靜仁會長，政府側由文教部耿教化司長，民生部王保護科長，中央社會事業協會閻主席，禁煙總局范局長等關係官臨席之下，嚴肅舉開，首由關係方面致訓辭後，而互相討論設定財團法人，至第二日之二十六日繼續檢討，茲錄其討論之各案如下。

- 一、關於遵照政府指示設定財團法人之件
- 二、關於財團章程修正之件
- 三、關於自設防衛團簡章請研議追認公佈實施之件
- 四、關於禁煙政策協助進行之件
- 五、關於常備禮增加慶祝樂歌之件

按既定之草案辦理呈請關係當局認可手續

業經修正完了之草案經家審查承認當即公佈施行

認公佈實施之件

奉文教部指示並鑒於時局重要為防衛態勢之強化組織自設防衛團總會，業已實施中由地部及營區訓練，其組織簡章提出審查

- 一、由各省及重要院會組織禁煙班
- 一、凡會員修方中有鴉片癮者或親友等，均可隨意入班禁治
- 一、所需醫藥均由所在地之康生院給與，並派醫士免費治療，且與以相當便利
- 一、關於禁煙政策協助進行之件
- 一、關於常備禮增加慶祝樂歌之件

以「正」「強」「和」為信條勇往邁進

盧大臣對新京市教職員講演要旨

盧文教部大臣，八月廿六日於新京大經路小學校，對全新京市教職員講演，題為「惟神之道，意旨神奧，多所發揮，各教職員，深為領悟，於精神思想上，裨益良多，茲錄其講演之大旨如次：

「正」「強」「和」這三個字，此三字在本人任三江省長時，曾作為全省官公吏以及民衆的座右銘，「正」字即正大之意，以古語言之即所謂中庸之道，不偏不倚之謂，我們欲求社會安定，世界和平，必須首先正心，心正則家齊，家齊而後國治，而後天下太平，諸位當徹底觀察惟神之道之精神，我國建國之道之精神即國民一體上下一致之謂，中國對國民二字多有所誤解，因而國民分難，蓋中國之國民並不相關國民毫無國家觀念，尤其對忠孝亦抱一種錯誤觀念，以為忠則不能盡孝，盡孝則不能盡忠，其不知國破家亡者明矣，目下時局日益緊張，余所最注意者，為忠孝問題，望諸位謹慎從

理善會設立民衆講習所

理善總會，為救濟一般失學之市民起見，決定假該會學校教室附設民衆講習所一班，經籌備就緒後則於八月中旬，在全市張貼招生廣告，報名異常踴躍，截至二十七日六十名學額已告額滿，乃決定於九月一日舉行開學典禮後即開始第一日授課，每日授課之時間，由午後六時起入時止，計兩個月時間，授以讀書識字及日常生活必需之智識技能云

關於職員及會員調查之件

關於首題之件希依左記要領調查於九月末日以前彙齊報部為荷

- 一、調查地域 全滿(總會所屬分會及下部組織)
- 一、團體名、姓名年齡、性別、職名、原籍地、現住所、
- 二、知識程度(分甲乙丙丁戊五種記載之)
- 三、健康狀態、現狀、病弱者、其從來之健康狀態及患病名(分甲乙丙三種記載之)
- 三、備考

文教道際

文教社第二九二號
庚一十一年八月十一日
文教部教化司長 耿熙旭
記 載 例

姓名	年齡	性別	職名	健康程度	原籍地	現住所
王○○	二七	男	會計科長	甲	吉林省懷德縣	新京特別市東三馬路六號十一番
乙						

復縣各團體奉仕隊

復縣宗教教化團體，為順應策國增強戰力決戰期必勝起見，乃挺身躍起以數十名之宗教教化團體要員，編成勸勞奉仕隊，由八月一日起至同月十日止，於八月一日午前由縣長訓示後，陸軍結成，由教育科禮教股劉科員率領之下，每日赴勸農場實施除草工作，與炎天烈日搏鬥，表現增產報國之赤誠，成績非常良好，此種勸勞報國精神實足喚起一般民衆對勸勞增產之熱意，齊向聖戰完遂途上邁進云。

詩 時局雜寫

冠頂七絕六首

其一 伏 量
萬里春光耀滿洲 壽山福海盡歡謳
無邊聖業千秋固 疆土遼成快樂舟

其二
聖旨廣佈化群民 戰事悉憑衆力臻
順利完成真樂土 遂心滿願慶維新

其三
敵勢猖獗力不支 軍民正是立功時
掃除此輩惟絕跡 鐵燄無存悉滅之

其四
總願群民志氣高 力圖上進効英豪
克除暴虐惟同體 敵寇聞威自潛逃

其五
報答皇恩勇力伸 國強自有兩隣民
官賞廣佈新行策 化鏡群黎一體遵

其六
眼看美英力不支 前因後果報當時
決心援戰能同體 勝利完成全在茲

熱河喇嘛普寧寺

普寧寺俗名大佛寺。在世界最著之寺廟。稱爲熱河八大喇嘛廟。占八大廟之一者。即是普寧寺。取意乃安寧普遍。才能得如此建築莊嚴之寺廟。乃係乾隆二十年(二四二五)五月在伊犁河之流域。即今(新疆省)北部地方。平靜準噶爾之後。四衛拉特部落之四族長。初次拜謁皇帝。爲紀念而建此廟。因能普寧及此處。故取名曰(普寧寺)又該廟。佛像最大又稱(大佛寺)建築係做西藏三摩耶廟之規模而建築之。該寺位喇嘛宮之東北。赴隆地縣大道之傍。前流源仁、清善、兩寺係做支那伽藍式而建築者也。惟此寺與他形狀特異。工程較他寺非常雄大。另有驚人之處。此廟在山之斜面。或高形低配置之處非常巧妙。前半部略似支那伽藍式。後半部多似西藏式。寺之前。南面有武烈河水靜流寺之後面有蓮花形之山勢圍抱。寺之首殿。山門五大間。碑亭方形三間。內中滿、漢、蒙、藏四體御筆文。二丈餘石碑二方中央三丈碑一方。天王殿五間。內供四大天王。四尊丈二法身。並布袋和尚像。大雄寶殿十二間。殿前有廣大露臺。殿門上。有滿、漢、蒙、藏四體御筆金字匾一方。上書(大雄寶殿)。殿內供設約一丈金色法身。三世佛三尊。左右兩壁。十八羅漢。約六尺餘高法身。泥塑。並有塔摩彩畫像。十八羅漢。在大雄寶殿後。約三丈多高不虛。在石崖上有三角殿。此殿爲禪寺之特色。係世界大建築物。稱爲普寧寺中心殿。曰(大乘閣)。該閣內安置偉大佛像。又(大佛閣)。因此寺通稱爲大佛寺。該閣約四層。最上層設置金銅寶頂五個。每個約二丈餘高。均

約二千斤以上。其他處係黃色琉璃瓦。在該閣之內部。有大石塔。上供設木製大慈大慧千手千眼觀世音菩薩一尊。法身高七丈二尺。由底層閣直至三層閣。全部大赤金漆裝恐世界亦無有如此之大佛像。尊顏三支法眼。左右三十六臂。各手持各種佛具。法寶。在大佛之頭頂尚有約五尺高坐像合掌之小佛一尊。此大佛係承德西兩地方。有一地名柴河川。劉家林子。有巨大之樹一株。用該樹之本。制作此七丈二尺餘大佛。在未用製作大佛之前。該大樹由根至梢。約十三丈有餘。除根去梢。製成佛像。尚七丈多高。足徵樹之巨大者也。在該柴河川有口皆碑的傳說。附近人民。依其樹之巨大。恐其上有巨蛇盤居。共謀欲伐。於是用斧鋸伐砍。該樹不第不倒。反而流血。人民恐砍。由是停止。不日乾隆帝夜夢。柴河流域有巨大老樹一株。可用作千手千眼觀音法身等。帝將夢中之事。翌日早朝述於侍臣。派侍臣前去調查。該臣至其處一看。果有古樹一株。由是將該樹用作佛像。有此傳說。在大乘閣之左右兩壁。有無數之佛龕。每一佛龕。供設一尊佛像。在殿上層佛龕之小佛。係金製。約三寸法身。中層銀製。下層金銅混合製。最下層鐵泥製。約五寸法身。總小佛之數。約一萬餘。現在一尊皆無大乘閣四隅之外。有四基寶塔。一尊塔方形。台上立喇嘛塔。其色有黃綠黑青紫彩色。在塔之上部。有寶蓋。日月寶珠。隨風擺動。又閣之前後。及東西。在高台之上。均設有各型白臺。前面白台下層六角形。上層方形。周圍塗黃白色。東西之白台。矩形。較他白台高。東西白台有六方形四方形。東台名爲(新月白台)。西台名爲(陽圓白台)。新月白台又叫作(月輪)陽圓白台叫作(日輪)台之東有妙嚴室。有講經堂。妙嚴室係皇帝臨御之際休憩所。現今荒廢。講經堂亦勝遺跡。大乘閣之背後。有大小山子石砌成石洞及道路。由該路出去。上頂有重層方閣。石道兩邊有六角白台。方閣上層。有石階。在石階上。能眺望各處美景。由大乘閣上通過去。能望見很遠之避暑山。及舍利塔。右邊能望見河東警鐘奇峰及平野良田。衣帶武烈河。皆能望見。該寺周圍面積約一里許。喇嘛約五十餘。每日上殿誦咒。一日三遍。該寺於每年正月十三日舉行廟會。於寺前山門廣場。又名(跳舞祭)。俗稱打鬼。各寺喇嘛。均得參加。是日首腦長官。及黎民。咸集參觀該寺院盤松古柏。工程之宏大實爲世界獨一之寺矣。

宇宙生化進化輪化退化論

伏 量

有謂宇宙爲生化者、有謂進化者、有謂輪化者、有謂退化者、莫衷一是、究竟生化耶、進化耶、輪化耶、抑退化耶、吾人當知生化、進化、輪化、退化、皆言宇宙萬物狀態之變遷所呈露的現象、森然的有秩序可循耳、當未有萬象之先、其氣渾然粹然、渺冥稀淡、爲宇宙萬物之先天、所謂太極、太極分判、陰陽兩氣相交、化生諸有、自是宇宙萬物得以有生得以有化、當此之時、謂之生化、既有宇宙萬物之後、聽其自生、自化、自形、自色、自存、自滅、自智、自愚、自善、自惡、生化化生、輪轉不息、或由此物而化爲彼物、或由彼物

而化爲此物、互相變異、謂之輪化、宇宙生成以來、萬物漸次滋長繁興、人類知識思想、日見發達、如水東流、波波相逐、大有湧進無止之勢、所謂世界自野蠻而進文明、由文明而進大同、人類與萬物皆日新又新、此之謂進化、宇宙萬物由無而有、老子所謂(有生於無)故進化遠於極點、仍復有爲無、老子所謂(無生於有)此時即屬於退化、當知生化即輪化、輪化即生化、生化爲輪化之開始、輪化爲生化之循環一者元始、一者承繼、元始在先天、承繼在後天、於一生物之間、皆有此關係、不獨宇宙爲然也、又當知退化即進化、進化即退化之沿流、退化者進化之終極、一進一退、互爲其根、川流不息、所以宗教家會云(天地歷十二萬九千六百年爲一混沌、混沌之後、再開闢天地、發生萬物、如是週而復始、無有終止)是故以宇宙一生一息而論、有始有終、以其生息無止而論、莫知其所始、莫知其所終、此不獨宇宙爲然、於一物生死之間、皆有其現象可窺、又當知生化、輪化、進化、退化、皆就其自體一方面言之、若合四者而論、其間則有我佛家所倡之因果緣而爲之承繼、宇宙萬物依是生滅滅生、所以我佛云、此宇宙爲因果世間、何謂因果世間、輪迴不息、蓋宇宙萬物在此一大輪迴之中、有變滅者、有不變滅者、屬變滅者、必受四化之淘汰、即宇宙萬物之形體色相、

喇嘛跳舞之由來

詩 輯

喇嘛跳舞之由來

（打電）

西藏之白蓮花，一之五期，位喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

西藏之白蓮花，一之五期，位喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

並所有其他其用意，當由費之...

喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

喇嘛跳舞之由來

詩 輯

西藏之白蓮花，一之五期，位喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

西藏之白蓮花，一之五期，位喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

西藏之白蓮花，一之五期，位喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

西藏之白蓮花，一之五期，位喇嘛跳舞之由來，即在此時。...

(祭) 忠靈塔例祭研討會

【奉天】秋季忠靈塔例祭，將於九月十七、八日於奉天忠靈塔舉行，祭典委員長山菅氏，爲討論例祭各行事，乃於八月三十日午後二時，於市公署二階會議室邀請省市各機關及各關係方面，開會討論當日之各種行事云。

秋丁祀孔定期舉行

【奉天】康德十一年度秋丁祀孔經奉天省公署規定於九月二十日舉行，除通令各省市縣一體遵照辦理外，省方對參加祭典人員備有津貼，申、畢定於十九日午後一時起於大南門裏文廟實施典禮云。

東寧豐稔戲謝祭

【東寧】東寧報國農場副島場長以下〇〇〇名之場員，鑑及當茲大東亞戰爭下，軍要戰力之緊急增產要請之秋，全員打成一片，總感慶慶開增產戰，俾即即應於第一線繼續戰鬥中之皇軍將兵苦勞，由於此諸場員之熱意，農產物頗呈近來稀有豐收狀態，是以於八月廿八日執行豐稔感謝祭，並舉辦演藝會與增產懇談會等，以備次期增產有所借鏡云。

江上軍慰靈大祭

【哈爾濱】擔任北邊鎮護之一翼，從軍國境河川，警備之陣我國軍將

兵，爲中尉其英靈，江上軍，由曹司令官爲祭主，已於上月二十六日上午十時起，在道外廿道街公園廣場，盛大舉行慰靈祭，更於日管下各部隊全將士均行參列於戰友之靈前，祈禱戰友冥福而示滅敵之決意云。

【奉天】爲教化矯治女癮者，開辦婦女解癮協議會

【哈爾濱】禁烟總局鑑於女性之戒癮，較男子諸多困難與不便，且深體驗道德會之教化對婦女解癮收事半功倍之效，故對婦女解癮大計，委之於道德會，以期伊等重新作人重登彼岸，濱江省當局爲期順利進行，克奏奇功計特於八月二十八日午前八時起齊集哈市、双城、五常、阿城、珠河、葦河、延壽、等市縣在一面坡舉開道德會婦女解癮協議會，於三十一日午前八時復齊集呼蘭、木蘭、東興、巴彥、安達、肇東、肇州、青岡、瀋陽、郭後旗等縣旗在呼蘭舉開同會，屆時王省長、劉民生廳長、村川技正保安科長暨原事務官外保官二名濱江道德總分會長等參加與會，並有中央側之禁烟總局長、烟政科長、安事務官、中央婦女戒癮指導委員會長、市側禁烟科長、禁烟股長、警察廳司法科長、各縣、旗側之保健股長、道總會長、日系烟務擔當者及康生院長、以及開會地之縣長、副縣長、行政、警務各科長、均出席英會會序除國民機總及各官要課外，復有指導要領說明指示事項，協議

連絡事項，以充分討論婦女癮者矯治指導要綱及本年度婦女矯治之豫定案云。

再生癮者流行奉公，袒臂裸腿掘待遊覽

【克山】克山省縣合流康生院，自開辦迄今，已矯治更生而回滿出院之癮者，共有四五百數十名之多，成績之佳，概可想見，刻下在院癮者，尙有三十餘名，「東光輝」服用完了者，癮亦隨之消滅，由當院責任者導引每日在當院庭路尋小勞以資鍛鍊體魄，近日又從事防空壕掘掘工作，見一行十餘名袒臂裸腿，手執鐵鍬努力挖掘汗流如雨，而一行並不稍現疲乏，詢之知爲斷癮多日者，蓋已邁入再生之途云

市內合併管煙所 設婦女戒煙班

【京新】鴉片斷禁事業，自以市署禁煙科爲中心，加以各教化團體並其他各關係機關與民衆之協力，在此數年之內，癮者數目，已漸次減少尤其自東光輝發現以後，首都之男女癮者，自前希罕斷癮者，且益增多，以是近來癮者數目，已達至最少限度，刻市署禁煙科，基於此種良好之狀態，乃決定自九月一日起，將全市現有之十處管煙所與配給所，縮改爲西處而將其餘六處，爲婦女戒煙班或其他等使用，乃決定再按再辦，早日拯濟殘餘癮者，使之脫離苦海，再做新人，而廓清

首都之毒氣，至於被裁減之看燈備人，市署當局，正積極籌劃善後對策中，絕不使之失業。

(社) 民衆講習所卒業式

【吉林】市當局並市社會事業協會，爲振興槍後國民之教育，掃除一般文盲，同時更以「民族協和由語言作起」之目標使一般市民，得之日語學習機會，故於每年皆於各學校內，附設民衆講習而利用學校之課餘時間實施各種職業之講授，每並均獲得顯然之成績，關於本年度之附設民衆講習所，生徒三百餘名，自五月一日入學以來，至今已及三個月許所學之各種課程均已告終，遂於八月二十七舉行卒業式。

東滿社會教育 研究會將結成

【牡丹江】伴隨戰局之推移爲決戰下國民教育之社會教育，愈有振興普及之必要，有鑑於斯之東滿總公署，爲徹底研究有關社會教育之普及及振興方策，以期其強力的推進，並獲得民智向上育成優秀國民之最大效果計，行將網羅三江、東安、間島、牡丹江各省市縣教育擔當者及社會教育者結成東滿地區社會教育連絡研究會，對此目下已進行構立具體計畫中預定近日與文教部連絡結成事宜後，大體於九月中旬即可舉行結成式，今後除互相研究社會教育之強化普及方策外，同時

並企畫種々富有啓蒙性之行事，共成承頤堪期待云。

城內圖書館盛大開館

【新京】新京特別市立圖書館遷通路分館，由於當局責任者運籌得當，久爲市內好學者所贊許，今爲擴充業務，與盡戰時職域奉公之重責，擬將前記分館遷至西長春大街，即前市公署之舊址，此處原爲長春時代之文化發祥地，發正書院之所在地，數月前已着手改築，業已完竣，遂於八月二十七日下午三時在大同區事務所新館內舉行落成典禮，是日出席來賓有文教部次長、板垣社會教育科長、滿洲圖書協會會長、國立圖書館籌備處長、神尾圖書館協會理事、杉村滿日文化協會理事、協和會何文化部長、田中滿配社長、協和會首領本部事務長、市教育會會長、市行政處長、市總務科與文教科長、大同區長、大同警察署長等，知名之士，於小田市立圖書館長主持之下，隆重舉行，式後更於下午六時假鹿鳴春閣懇談會，新館位在市內中央，同時館內施設，亦比以前完備，實是讀書良好地方，市內好學者其有厚賜焉。